

2022(令和4)年度 事業報告書

令和4(2022)年4月1日から令和5(2023)年3月31日まで

特定非営利活動法人 C・キッズ・ネットワーク

1. 活動の成果

- ・ ウィズコロナが浸透し、出前講座は感染対策を行いながら実施された。事業計画の 400 講座を大きく上回る458講座開催することが出来た。コロナ前から連携していた消費生活センターや元会員からの紹介講座もあり、地道に活動を続けてきたことが評価された。
- ・ SDGsをテーマにした講座を開発した。これまでも環境、食育講座の一部にSDGsを取り上げてきたが、この講座は全面的にSDGsを紹介する内容となっている。すごろくを取り入れた参加型プログラムとし、SDGsを身近に感じられるよう工夫をした。2023 年度には学童保育や学校授業で活用できる講座を実施できるよう、継続して開発を行っている。

2. 特定非営利活動に係る事業

消費者教育出前講座事業

- ・ 2022年度は458講座を実施し、13,457人が受講した。この数年は感染拡大に伴い中止の講座が増えていたが、今年度は感染対策を講じたうえで実施できた。川西市の夏休み親子講座、湖南市の学童保育対象講座も3年ぶりに開催された。学童保育対象講座は宝塚市、伊丹市等でも行われ、2か月間で合計55講座となった。講師は炎天下、午前午後と教材を持って移動し汗をかきながら奮闘したが、子どもたちの喜ぶ姿は何よりも励みになった。
- ・ 多摩消費生活センター主催の夏休み講座はオンラインで行われた。担当者と打ち合わせを重ね、クイズやワークを取り入れた双方向の講座を行った。とよなか障害者就業・生活支援センターの講座は会場とオンライン参加者を結ぶハイブリッド講座だったが、主催者が複数台のカメラを用意して中継し、自宅からの参加者もさいころを振ってすごろくを楽しむことができた。オンライン講座は主催者の協力が欠かせないが、今後も経験を積んでいきたい。
- ・ まほろばキッチン檀原で開催された「おつかい上手にできるかな？」講座は産直会場でのお買いもの体験を加えたスタイルに、豊中市では小学5年生の家庭科单元の中で先生の授業と連携した「プレゼントの値段」講座を実施するなど、従来のプログラムに加味した新しい講座スタイルにも挑戦できた。



多摩消費生活センター
「かしこく使おう!ネットとゲーム」
当会事務所より配信
2022/7/27



湖南市・学童保育
「かしこく使おう!ネットとゲーム」
2022/8/24

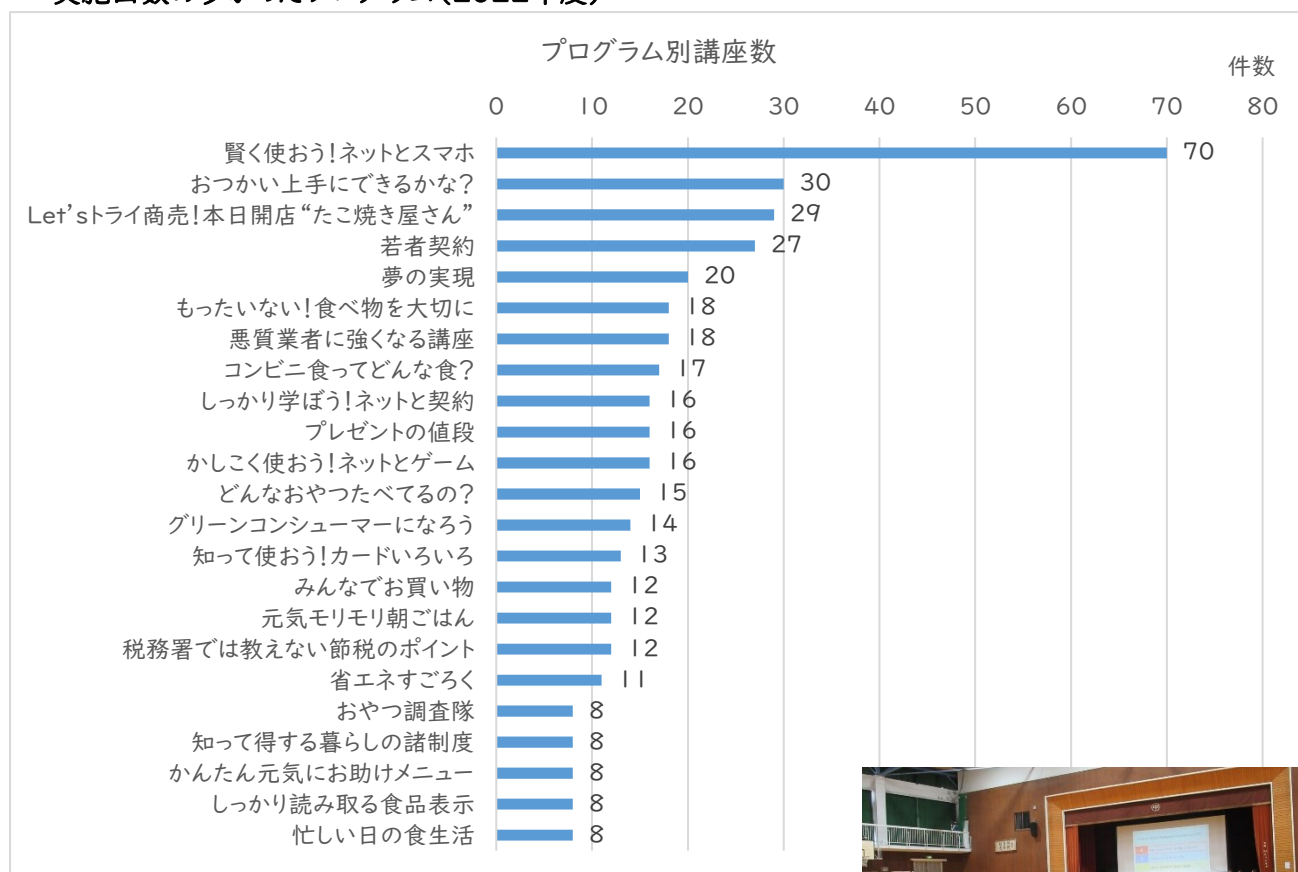


とよなか障害者就業・生活支援センター
「誰でもできるSDGsな暮らし方」
ハイブリッド講座を実施
2022/9/10

依頼者別講座数

センター名		講座数	主な対象者	受講者数
兵庫県立の消費生活センター	消費生活総合センター	13	高校生	488
	東播磨	3	高校生	34
	中播磨	4	中学生・高校生	84
	西播磨	2	高校生	37
	丹波	6	高校生・一般	170
	淡路	7	高校生・一般	215
県内市町の消費生活センター	宝塚市	46	学童・高校生・一般・親子	1,059
	明石市	22	小学生	688
	西宮市	20	未就学児・小学生・学童・一般	527
	伊丹市	12	学童・一般・高齢者	272
	川西市	11	未就学児・小学生・親子・高校生	564
	播磨町	10	小学生・中学生・親子	654
	三田市	5	高齢者・一般	106
	姫路市	9	小学生・高校生	1,093
	神戸市	1	小学生	72
	加東市	1	一般	29
	小野市	1	一般	20
県外の消費生活センター	豊中市	74	小学生・中学生・高校生	2,588
	東大阪市	69	未就学児・小学生・高齢者	2,086
	岐阜県輪之内町	16	小学生・中学生	387
	湖南市	7	学童	165
	多摩消費生活センター	2	親子	30
消費生活センター以外	コープこうべ	77	一般・親子	786
	ひょうごエコプラザ・ひょうご出前環境教室	8	未就学児・学童・一般	162
	奈良県金融広報委員会	4	親子	132
	ストップ!!食品ロスいたみ	3	小学生	89
	関西消費者協会	3	小学生・高齢者	87
	兵庫県立消費生活情報プラザ	2	小学生	12
	全国消費生活相談員協会	2	小学生	60
	灘中学校	2	中学生	175
	とよなか障害者就業・生活支援センター	2	要支援者	51
	多可町生活安全課	2	未就学児	30
	宍粟市消費者協会	1	一般	41
	神戸こどもエコチャレンジ21 倶楽部	1	学童	35
	洛星高校	1	高校生	215
	三田市いきいき高齢者支援課	1	高齢者	45
	三田すずかけ台・けやき台地区民生委員	1	高齢者	22
	三田市障害福祉課	1	その他(障害を持った相談員他)	17
	加古川市教育委員	1	一般	80
	宝塚市社会福祉協議会	1	高齢者	24
	宝塚市立米谷保育所	1	親子	3
	阪神友愛食品(株)能力開発センター	1	要支援者	6
	よどがわ市民生協くらし委員会	1	一般	11

実施回数の多かったプログラム(2022年度)



播磨市・中学校「しっかり学ぼう! ネットと契約」
2022/5/13

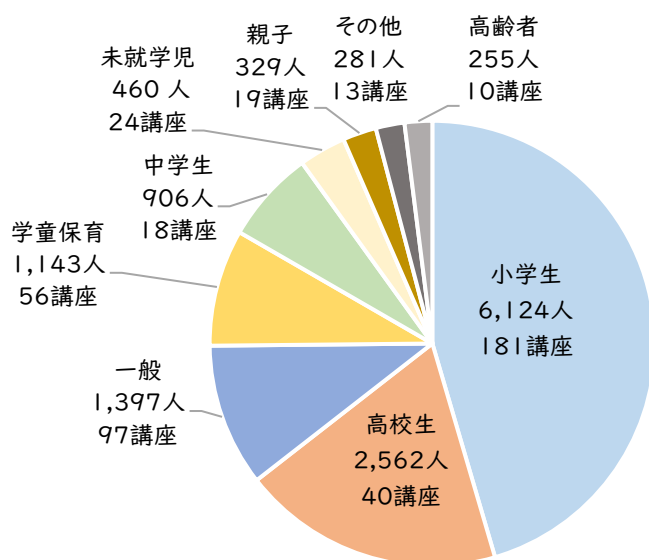


宝塚市・学童保育
「Let'sトライ商売! 本日開店 “たこ焼き屋さん”」
2022/8/25



東大阪市・小学校「おつかい上手にできるかな?」
2022/9/7

対象者別受講者数



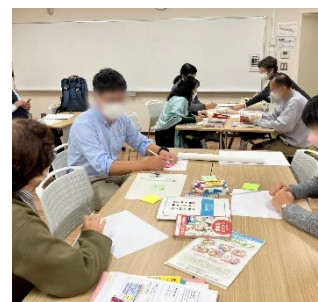
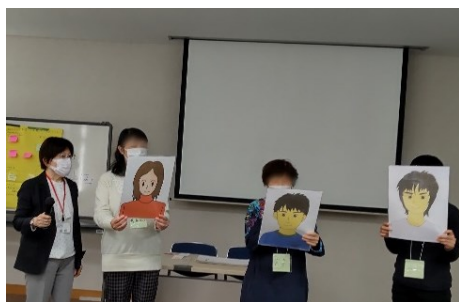
高校生は学年単位の講座が多いので、講座数に対して受講者数が多い。一方、一般向け講座は少人数で行われるものも多い。

消費者教育研修事業

外部向け研修

- ・ 伊丹市から委託を受け、消費生活サポーター養成講座を3日にわけて開催した。
- ・ 豊中市、丹波市において教員対象の研修を実施した。揖保郡では就労支援施設職員向け研修を行った。宝塚市では高齢者・障害者権利擁護支援センターで研修を行った。
- ・ 兵庫県立伊丹北高校の選択授業で「地域社会調査」報告会での発表への助言を行った。

日	開催地	対 象	受講者数	内 容
10月29日 11月12日 12月3日	伊丹市	消費生活サポーター	7名	市民の見守り活動を行うための情報提供
7月6日 9月7日	豊中市	小・中学校教員	19名	「コンビニ食ってどんな食？」 「契約ってな～に？」模擬授業
8月1日	丹波市	特別支援校教員	25名	成年年齢引き下げと若者の消費者問題について
11月25日	揖保郡	就労支援施設職員	11名	若者が陥りやすい消費者トラブルと防止法について
12月8日	宝塚市	高齢者・障害者権利擁護サポーター	6名	判断力が不十分な人の消費者被害の現状と対応について
10月25日 11月8日 11月29日	伊丹市	コース選択した高校1年生	17名	地域社会調査報告会へ向けての助言 テーマ:「被害者にも加害者にもならないネット利用を考える」



伊丹市・消費生活サポーター養成講座
2022/10/29・11/12・12/3

会員向け研修

- ・ 当会会員による内部研修と外部講師を招いての研修を1回ずつ開催した。

日	テーマ	講師	参加者	内容
10月6日	大人数の受講生とのタブレットを使ったやり取りの方法	宝塚NPOセンター ICT 担当 倉上英治氏	19名	大人数の講座においても双方向での講座を実施できるノウハウを教えて頂いた
3月18日	誰でもできるSDGsな暮らし方	当会会員	13名	今年度の開発講座の紹介と講師養成

消費者教育教材及びプログラム開発並びに提供事業

「誰でもできるSDGsな暮らし方」プログラム開発

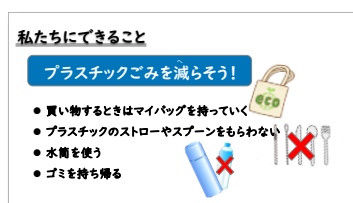
- ・なぜSDGsが掲げられたのか？SDGsの目標を学び、目標達成のために自分たちでできることを考える講座を開発した。
- ・今年度は一般向け講座を開発し、2講座実施した。
- ・2023年度、学童保育の講座、学校授業に展開できるよう、継続して開発を進めている。



要支援者向け
「誰でもできるSDGsな暮らし方」
講座風景 2022/9/10



講座で使用するスライドより

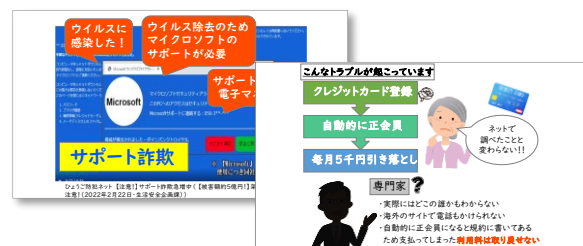


講座で使用する
すごろく



契約・ネット関連のプログラムの改良

- ・消費者トラブルやネット関連のプログラムは常に新しい事例や課題を確認し、情報を更新した。



講座で使用するスライドより

調査研究・情報収集及び提供事業

- ・西宮市教育委員会ニュースレターに「SNSの危険から子どもを守るため保護者ができること」というテーマで原稿を提供した。
- ・消費生活情報プラザ担当者が消費者教育コーディネーター会議に参加し、情報収集を行った。

イベントの企画及び提供事業

- ・ 行政主体イベントはコロナ前には戻っていないが、少しずつ開催できるイベントも出てきた。
- ・ 宝塚市においてパネル展が開催された。

開催日	場所	名称	内容
11月6日	西宮市	消費生活展	「もったいない 食べ物を大切に」をテーマにクイズコーナーを設置
4月23日 6月4日 11月10日 2月15日 3月5日	伊丹市	フードドライブ	伊丹市協働事業「ストップ!!食品ロスいたみ」での活動 食材を提供してくださった市民への食品ロス削減に対する啓発
2月23日	西宮市	NPO 交流会	当会と教材の紹介
3月24日～31日	宝塚市	環境都市宝塚市民会議 パネル展	SDGsに関するパネル展示



西宮消費生活展
2022/11/6



イタミ蔵マルシェ
フードドライブ・ミニ啓発講座
2022/4/23



アースデイいたみ
フードドライブ・ミニ啓発講座
2022/6/4



環境都市宝塚市民会議パネル展
2023/3/24～31



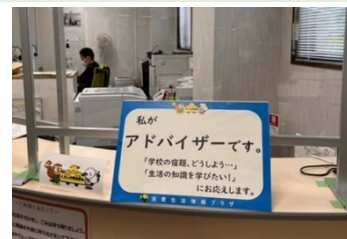
伊丹市立男女共同参画センターこころ
ミモザの日・ミニ啓発講座
2023/3/5

※消費者教育支援事業は、消費者教育出前講座事業に統合

※消費者相談事業は、休止

消費生活情報プラザの運営に関する事項

- ・ 月～金曜日はアドバイザーを配置し、窓口業務、利用者への助言、消費者啓発講座の実施など、県民へ消費者啓発を行った。
- ・ オンラインによる消費生活講座(見逃し配信あり)を13回、こども生活講座を2回、消費者力アップ体験学習会を3回実施した。また、中高生向けの消費生活情報メールを3回発行・配信した。



消費生活情報プラザ窓口



夏休みこども生活講座
かしこく使おう! ネットとスマホ
2022/8/2



オンライン講座
～買い物で社会を変える?～
『エシカル消費』のすすめ
2022/10/24



消費者力アップ体験学習会
知って使おうカードいろいろ
2022/11/25

3. 事業実施体制

管理運営・会議に関する事項

通常総会

開催日 令和4年5月28日(土)
開催場所 西宮市
出席者 25名(うち表決委任者12名 ※会員総数46名)
議事内容 令和3年度 事業報告、決算報告の承認

理事会

開催回数 合計12回
開催場所 オンライン11回、対面(神戸市)及びオンラインのハイブリッド開催が1回

例会

開催回数 合計8回
開催場所 西宮市4回、神戸市3回、オンライン1回

会員の状況

会員 45名
賛助会員 3名 (2023年3月31日現在)

事務所運営

週 3 日 事務担当 1 名

会への問い合わせ対応、会計事務、各種書類作成、教材管理など

広報活動

広 報 紙 年 1 回発行

ホームページ 活動レポート随時更新 <http://ckids-net.org/>

